



エンジンキット

Workman® GTX EFI ユーティリティビークル

モデル番号 161-5280

取り付け要領

安全について

危険警告記号


危険警告記号  1 は、このマニュアルと実機上とに表示され、事故防止のために守るべき重要な注意事項を示します。



図 1

危険警告記号

g000502

危険警告記号に続いて、**危険**、**警告**、または**注意**という文字が表示され、危険についての具体的な内容が示されます。

危険 人命に関わる重大な潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が**起こります**。

警告 人命に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が**起こる恐れがあります**。

注意 安全に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないとけがをする**可能性があります**。

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	-	既存のエンジンを取り外します。
3	ディップスティックチューブ短 ディップスティックチューブ長 Loctite® 620 (0.5 ml)	1 1 1	新しいディップスティックチューブを取り付けます。
4	必要なパーツはありません。	-	エンジンを取り付けます。
5	ケーブルタイ	2	組み立てを完了します。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

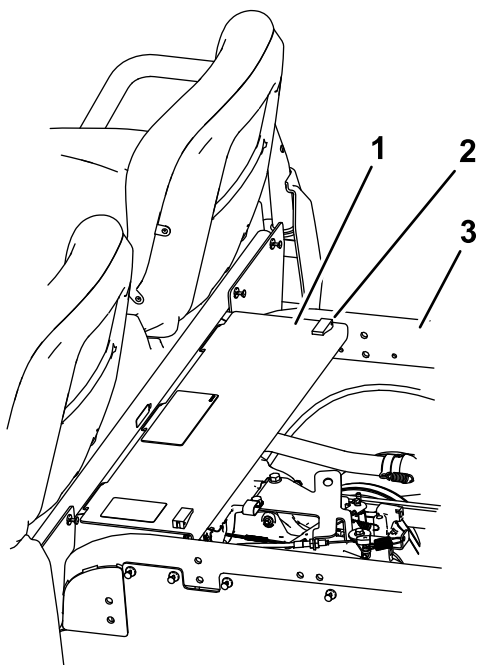
手順

1. 平らな場所に駐車する。

2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. エンジンが完全に冷えるのを待つ。
5. バッテリーから、アース側黒ケーブルを外す。
バッテリーから、プラス側赤ケーブルを外す。
6. 座席アセンブリを前方に倒す; オペレーターズマニュアルを参照。
7. 荷台を上昇させ、支持棒で固定するオペレーターズマニュアルを参照。



8. ラッチを外し、リアフレームからカバーを持ち上げて、リアフレームパネルカバーを取り外す(図2)。



g483813

図2

1. パネルカバー
2. ラッチ2個
3. 後フレーム

2

既存のエンジンを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

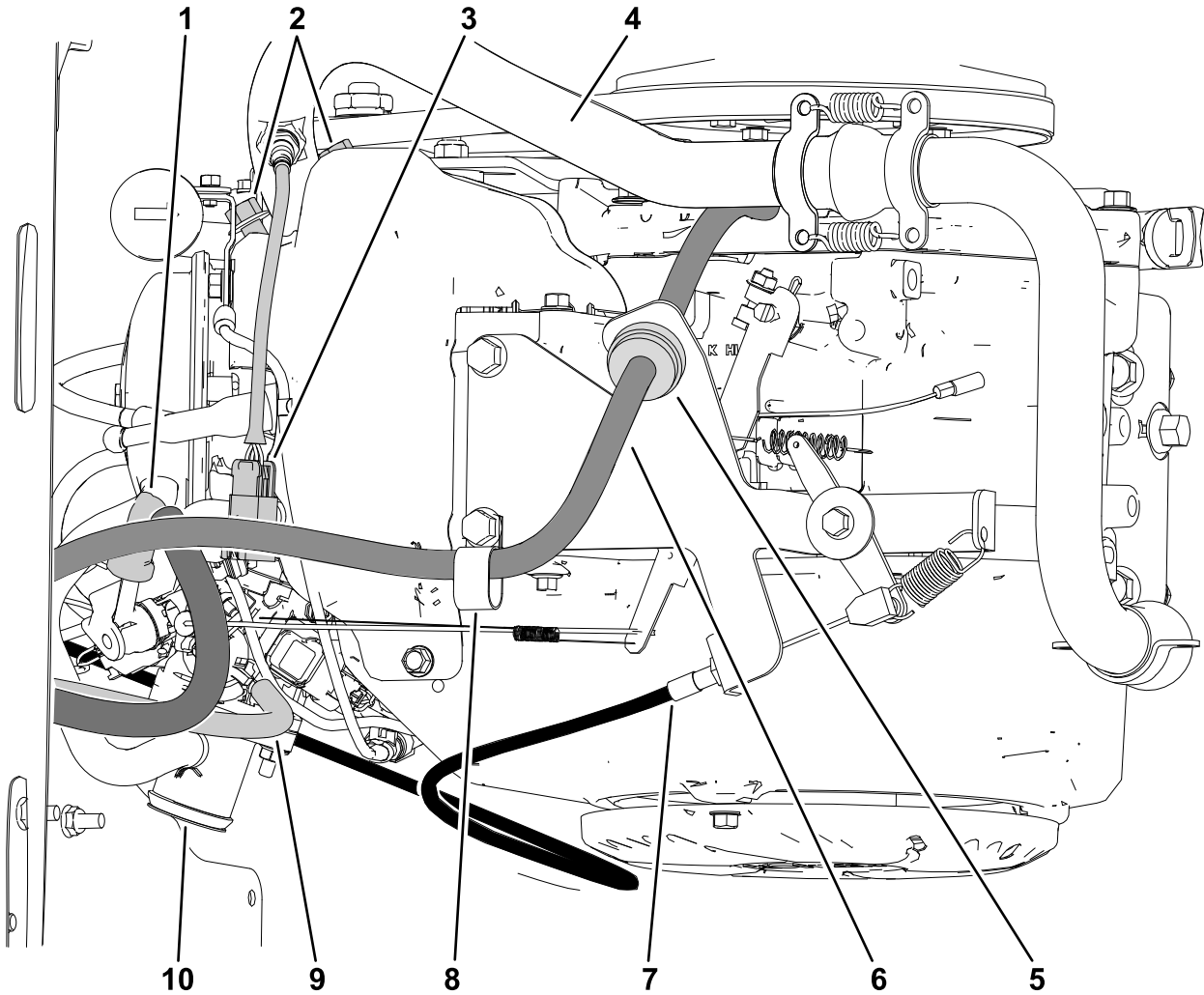


図 3

g483870

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 燃料供給ホース | 6. パルスホース |
| 2. 排気マニホールドのボルト | 7. アクセルケーブル |
| 3. 酸素センサー | 8. R クランプ |
| 4. 排気アセンブリ | 9. EVAP ホース |
| 5. パルスラインフィルタ | 10. エアインテーク図は外した状態 |

1. スロットルレバーのボールジョイントに付いているエンジンからのアクセルケーブルを外し、ケーブルをロットルブラケットから取り外す 図 3。
2. エアインテークホースをエンジンとエアクリーナアセンブリに固定しているホースクランプをゆるめる。インテークホースを外す 図 3。
3. エンジンのワイヤハーネスから酸素センサーを外す 図 3。

4. 排気マニホールドとガスケットを固定しているフランジヘッドボルト2本を取り外す。ナットは保持し、排気アセンブリを取り外す 図 3。
5. 電子燃料噴射式エンジンからホースを外す 図 3

重要 燃料ホースの配設ルート、ホースクランプ区別を記録しておいてください。

- A. 燃料インジェクタ部の燃料供給ホースを外す。
 - B. パルスラインフィルター部でパルスホースを外し、Rクランプからホースを取り外す。
 - C. スロットルボディ部で EVAP ホースを外す。
6. エアフィルタアセンブリの下のスイングアームの左側に固定されているエンジンワイヤハーネスからマシンのワイヤハーネスを外す。
 7. CVTベルト、スターター/ジェネレータベルト、プライマリクラッチをエンジンから取り外す。
 8. スパナバーをエンジンに固定している2本のフランジヘッドボルトを取り外す 図 4。

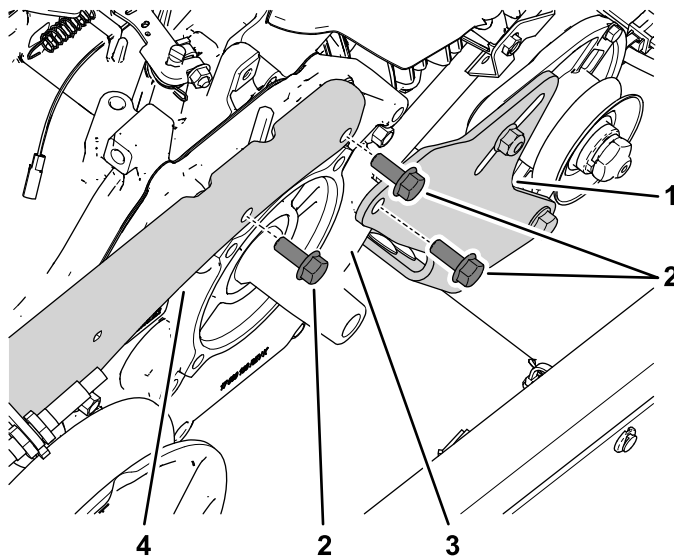


図 4

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. スターター/ジェネレータブラケット | 3. エンジン |
| 2. フランジヘッドボルト | 4. スパナバー |

g484384

9. スターター/ジェネレータブラケットをエンジンに固定しているフランジヘッドボルトを取り外す 図 4。

10. エンジンをスイングアームプラットフォームに固定している4本のフランジヘッドボルトを取り外す 図 5。

注 組み立て時に間違わないよう、バッテリーのマイナスケーブルの固定位置エンジンの左前部のボルトでエンジンに固定を記録しておいてください。

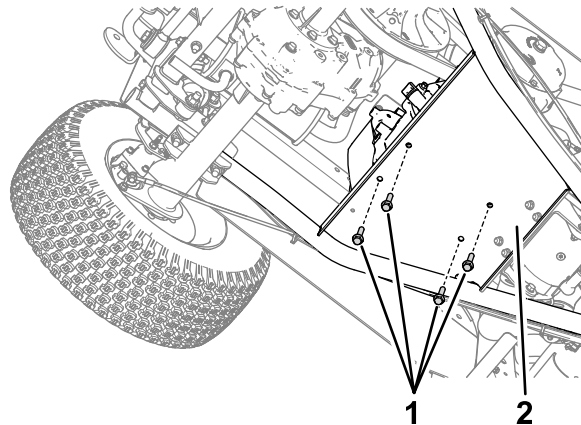


図 5

g484395

1. フランジヘッドボルト

2. スイングアームプラットフォーム

11. 適切な吊り上げ装置を使用して、スイングアームと車両からエンジンを慎重に取り外す。

重要 エンジンを取り外す際に、エンジン本体や、燃料ホース、コントロールケーブル、電気ハーネス、その他の部品を損傷しないように注意してください。

▲ 注意

エンジンの重量はおよそ 34.5 kg である。一人で持ち上げようとするのは危険である。

人身事故防止のため、エンジンを車両から取り外す際は必ず吊り上げ装置を使用すること。

3

新しいディップスティックチューブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ディップスティックチューブ短
1	ディップスティックチューブ長
1	Loctite® 620 (0.5 ml)

手順

重要 防熱性能を確実に発揮させるために、® 620 は 24 時間の養生を行ってください。

外気温が 22°C 以上の場所では養生に要する時間を 8 時間に短縮することができます。

1. 車両に合うディップスティックチューブを選ぶ
 - リフトド車両には、**短い**ディップスティックチューブを使用する。
 - **スタンダード**車両には、**長い**ディップスティックチューブを使用する。
2. エンジン取り付け面からボルトを外す [図 6](#)。
このボルトは捨てずに保管する。

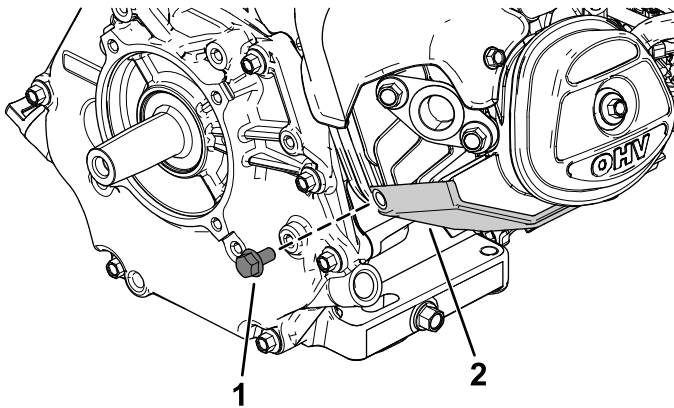


図 6

g287253

1. ボルト
2. エンジン取り付け面

3. ディップスティックチューブを取り付ける面を十分にきれいにする [図 7](#)。

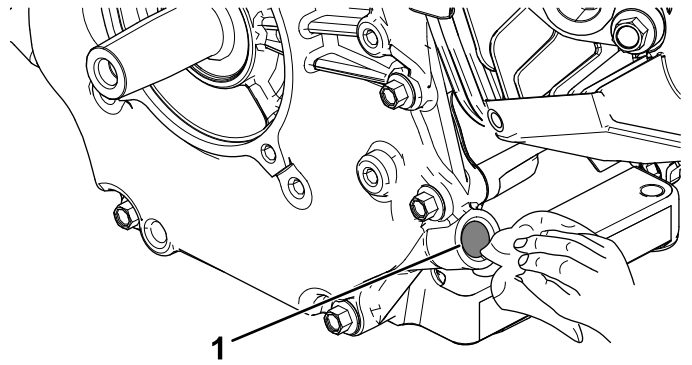


図 7

g287250

1. チューブ用開口部

4. ディップスティックチューブの接着面に Loctite® 620 を均一に塗りつける [図 8](#)。

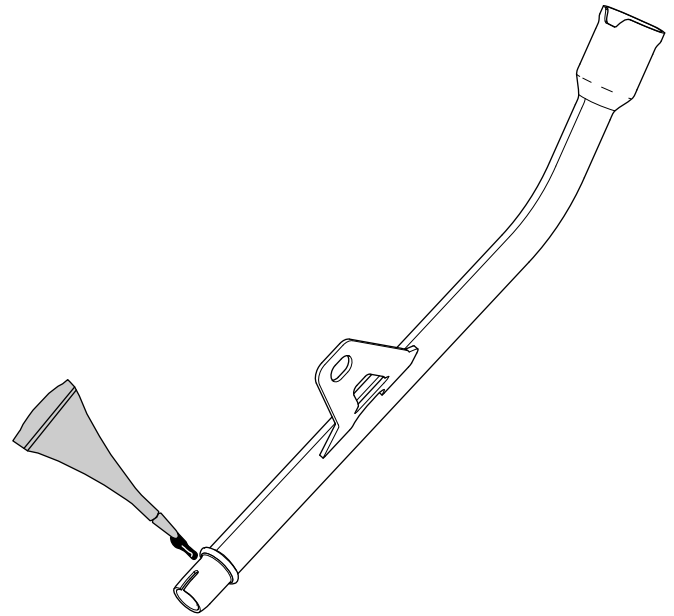


図 8

g287249

5. 取り付け用の開口にディップスティックを斜めに
取り付ける 図 9。

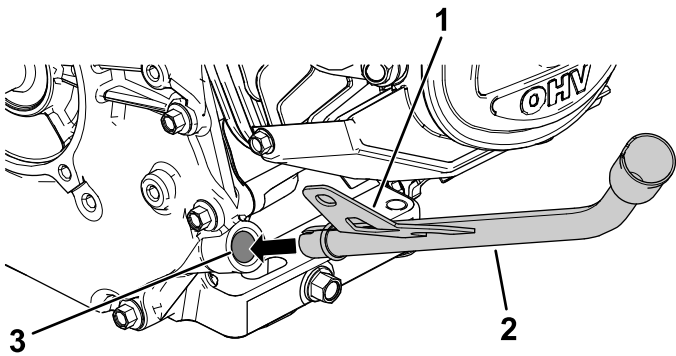


図 9

g287251

1. ここをゴム製マレットでたたく
2. ディップスティックチューブ
斜めになる
3. チューブ用開口部
く

6. ゴム製のマレット槌を使って、ディップスティック
のブラケット参照番号 1 図 9 を軽くたたく。

**重要チューブのブラケット以外のものをたたいて
破損させないように注意してください。**

7. ディップスティックが取り付け穴に完全に嵌っている
ことを確認する 図 10。

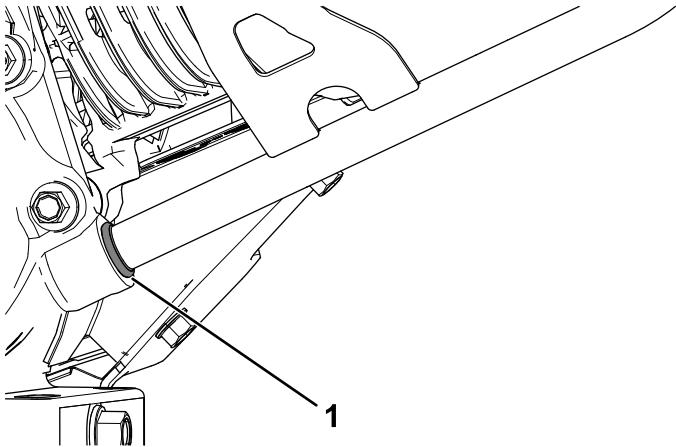


図 10

g288128

1. ディップスティックが取り付け穴に完全に嵌った状態

8. ディップスティックを回してエンジン取り付け面と
平行になるようにし、先ほど外したボルトで固
定する 図 11。

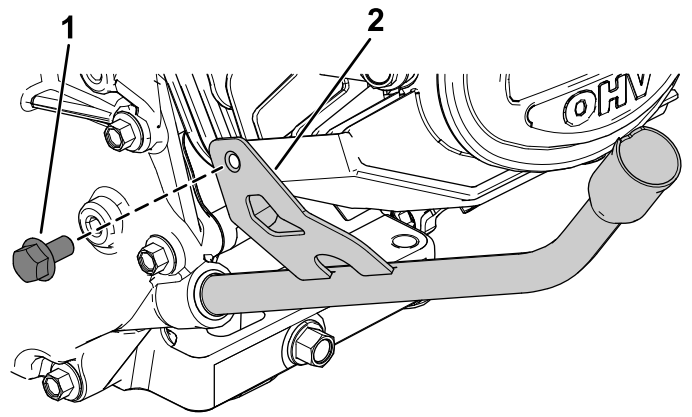


図 11

g287252

1. ボルト
2. ディップスティックとエンジ
ン取り付け面が平行

9. ボルトを 10.7-11.3 N·m 1.1-1.2 kg.m = 95-100
in-lb にトルク締めする。
10. ディップスティックチューブにディップスティックを
取り付ける。
11. Ⓜ 620 を十分に養生する。

4

エンジンを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 2 既存のエンジンを取り外す (ページ 3)と逆の手順でエンジンを取り付ける。
注 ホースとエンジンの開口部に付いているプラグやカバーはすべて取り外してください。
2. 全部のボルト・ナットを 図 12 の値に正しくトルク締めする。

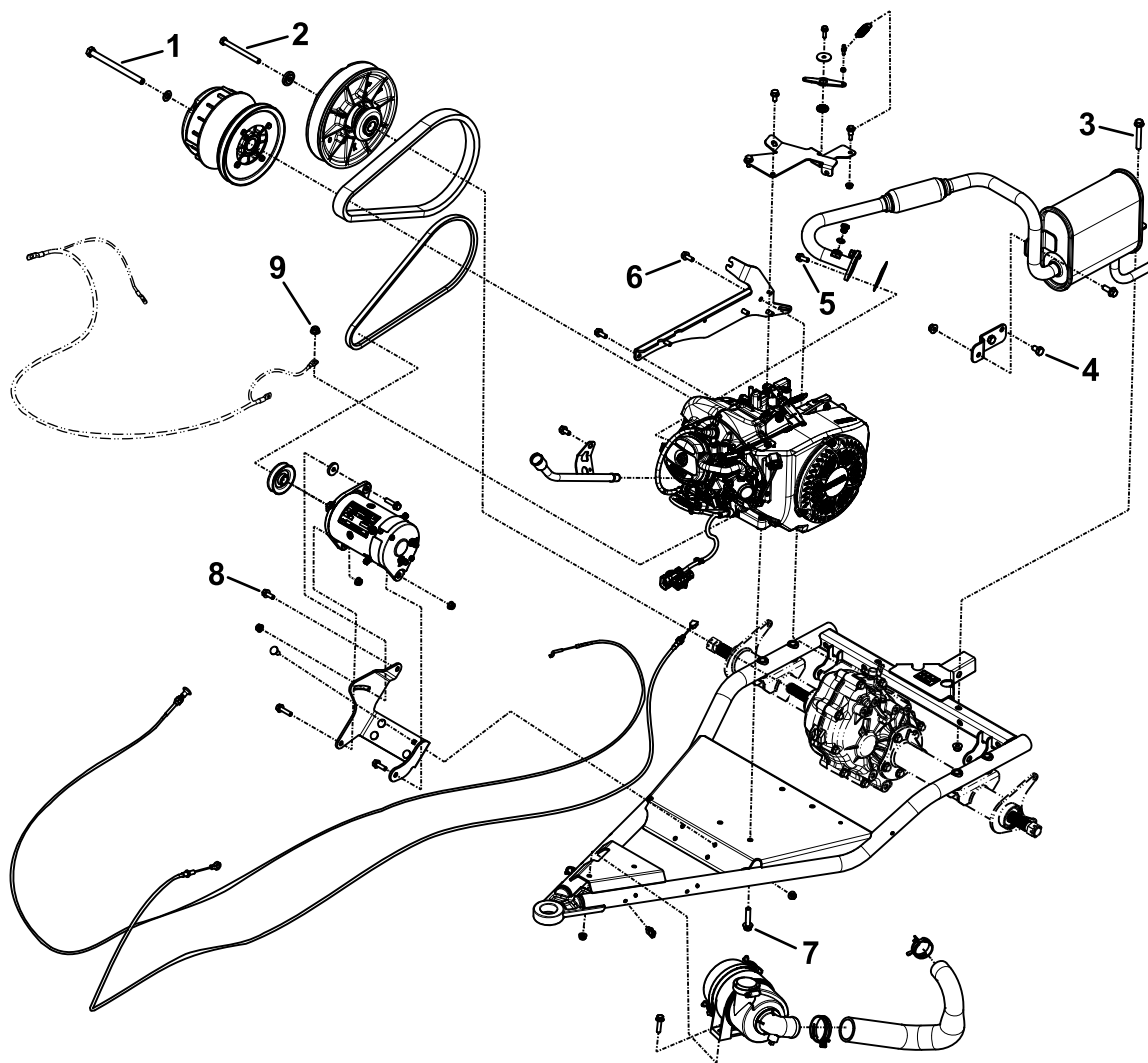



図 12

- | | |
|----------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 一次クラッチ 27 N·m 20 ft-lb | 6. スパナバー 38 N·m 28 ft-lb Loctite® を使用 |
| 2. 一次クラッチ 58 N·m 43 ft-lb Loctite® を使用 | 7. エンジン 68 N·m 50 ft-lb |
| 3. 排気フレーム 40 N·m 30 ft-lb | 8. スタータ/ジェネレータブラケット 38 N·m 28 ft-lb |
| 4. 排気トランスミッション 40 N·m 30 ft-lb | 9. ロックナット |
| 5. 排気マニホールド 24 N·m 18 ft-lb | |

g484585

3. プラスケーブル赤をバッテリーに接続する。
4. アースケーブル黒をバッテリーに接続する。
5. エンジンオイルの量を確認する。
6. アクセルケーブルの動作を確認し、必要に応じて調整する。
 - A. ローアイドルを高くするには、スロットルケーブルハウジングのところで前側のジャムナットをゆるめて後ジャムナットを締める  13。

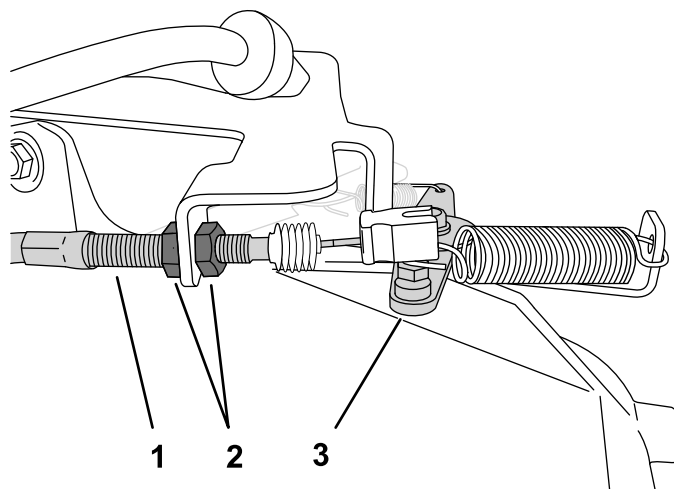


図 13

g229954

1. スロットルケーブルのハウジング
2. ジャムナット
3. スロットルレバー

B. タコメータでハイアイドル速度を確認する。

- i. シフトレバーがニュートラル位置にセットされていることを確認する。
- ii. エンジンを掛ける。
- iii. アクセルペダルを床一杯まで踏み込んだ状態で、タコメータでエンジン速度を測定する3,650-3750 rpm の範囲にあれば合格。この範囲にない場合にはエンジンを止め、ケーブルのジャムナットで調整する

重要 ハイアイドルを下げないでください。3,650-3750 rpm の範囲であることをタコメータで確認してください。

5

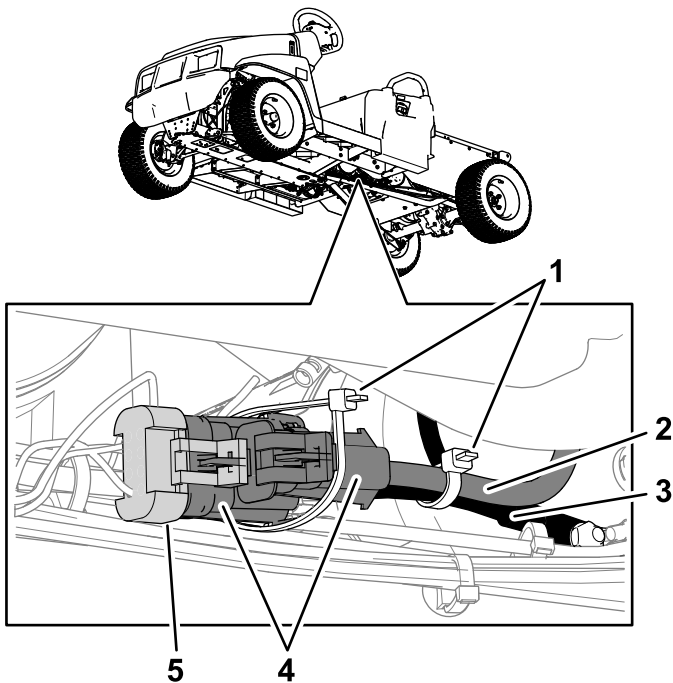
組み立てを完了する

この作業に必要なパーツ

2	ケーブルタイ
---	--------

手順

1. マシンのワイヤハーネスをエンジンのワイヤハーネスに接続する 図 14。
2. エンジンのワイヤをワイヤハーネスのコネクタ 2 つをケーブルタイでまとめる。次にもう一本のケーブルタイを使用して、エンジンのワイヤハーネスをバッテリーのアース (黒色) ケーブルに固定する 図 14。



g483846

図 14

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. ケーブルタイ | 4. エンジンのワイヤハーネスのコネクタ |
| 2. エンジンのワイヤハーネス | 5. マシンのワイヤハーネスのコネクタ |
| 3. バッテリーのアース側ケーブル | |

3. リアフレームパネルカバーを取り付け、シートアセンブリを元に戻し、荷台を下げる。

メモ



Count on it.